

他の前立腺癌治療薬との併用治療・逐次治療に関する Questions

Q5 アビラテロン酢酸エステル治療後にゾーフィゴ治療を行う際の適切な休薬期間は？

薬力学的な相互作用の観点で検討されたデータはありませんが、アビラテロン酢酸エステル及びプレドニゾロンの治療後にゾーフィゴ治療を行う場合には、アビラテロン酢酸エステルの消失半減期の少なくとも5倍程度の期間はゾーフィゴの投与を開始しないことが望ましいと考えられます。

【解説】

- 薬力学的な相互作用の観点において、前治療薬の効果が最小化される期間を検討した研究はこれまでに行われていません。
- 逐次治療時の両剤の薬物動態学的な相互作用を回避する目安として、前治療薬の消失半減期の5倍以上の休薬期間を置くことが一般的とされています¹。
 - ▶ アビラテロン酢酸エステル1000mg投与時の血漿中消失半減期：平均16.6時間²(※)
 - ※詳細についてはアビラテロン酢酸エステルの電子添文等をご確認ください。

1. 後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン（薬食審査発0319第1号 令和2年3月19日、別紙1）
<https://www.pmda.go.jp/files/000234565.pdf>

2. ザイティガ錠250mg 電子添文